

ガンビア／セネガルにおけるB型肝炎母子感染予防のための医療体制構築 3年計画の2年目

- 1. 目的: 西アフリカ(ガンビア／セネガル)におけるHBVの母子感染予防の体制構築
- 2. 概要: 富士レビオがHBV母子感染予防に向け、高リスク妊婦を簡便に同定できるHBeAg迅速検査キットをガンビア・セネガルへ導入する。保健省／国立肝炎プログラムおよび国レベルの基幹病院と連携し、一次医療施設にて妊婦健診を担う担当者等を対象に、測定手技、結果判読、品質管理、妊婦健診当日の治療介入に繋げる運用体制を研修する。加えて現地トレーナーを育成し、継続的な展開体制を構築する。
- 3. 成果: HBeAg迅速検査を高リスク妊婦同定の標準フローとして定着させ、各国ガイドライン／手順書へ反映する。妊婦健診当日の検査から治療介入までの運用体制を確立し、検査件数・陽性数・治療介入数、導入施設数、判定保留率等で効果を評価する。研修教材の継続活用と現地トレーナー自走により全国展開モデルを確立し、国際調達を含む供給体制を整備する。

